

【泉区】平成 28 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	28 年 2 月 8 日 (月) 9 時 58 分 ～ 11 時 32 分
場 所	泉区総合庁舎 4 階 消防署会議室
出席者	<p>【座 長】梶村 充 議員</p> <p>【議 員：3 名】源波 正保 議員、麓 理恵 議員、 横山 勇太郎 議員</p> <p>【泉 区：33 名】下村 直 区長、荒川 義則 副区長、 堀川 尚実 福祉保健センター長、 池尻 恵子 福祉保健センター担当部長 鈴木 智之 土木事務所長 有賀 太重 泉消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p> <p>【局説明員：5 名】(政策局) 青木 治 政策局基地担当理事 (市民局) 熊坂 俊博 市民局窓口サービス課長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1) 平成 28 年度泉区個性ある区づくり推進費予算案について</p> <p>(2) マイナンバー制度 (社会保障・税番号制度) について</p> <p>(3) 泉中央公園の再整備について</p> <p>(4) 旧深谷通信所の状況について</p> <p>(5) 泉区和泉町第五次地区の住居表示について</p> <p>(6) その他</p>
発 言 の 要 旨	<p>(1) 平成 28 年度泉区個性ある区づくり推進費予算案について</p> <p>麓議員：防災対策事業にある災害時要援護者支援の推進について、泉区連 合自治会町内会の 12 地区において取組を進めていると思うが、区とし てどのような状況にあると捉えているのか。</p> <p>金子総務課長：災害時要援護者支援については、東日本大震災の際に多く の高齢者及び障害者の方々が被災されたことを受けて、平成 25 年に条 例が改正され情報共有方式が始まっている。昨年度から自治会・町内会 の防災担当者向けに研修会を実施しており、研修を通じて地域の中で災 害時要援護者支援についての取組を進めていただいている。2 月 5 日の 時点で、7 つ目の自治会・町内会等との協定締結を行っている。地域の</p>

中で災害時要援護者を支援していく必要性を理解していただき、自治会・町内会に合った取組を区としてサポートさせていただいている。

麓議員：これまで多くの方を対象に手挙げ方式で進めているが、区として手挙げ方式でカバーできていると考えているのか。また、災害時要援護者を支援する方の体制についてどの程度整っているのか。

金子総務課長：泉区では平成 19 年度から災害時要援護者支援の取組を進めており、当初から手挙げ方式で取組が進められてきた。平成 24 年 3 月時点で約 70 自治会・町内会の取組が進められてきた。現在、泉区では情報共有方式で 7 つの協定を締結しているが、他の区では同意方式で取り組んでいるところもあり、各自治会・町内会に合った仕組で取り組んでいただくことが良いと考えている。また、災害時要援護者を支援する方の体制については、どの地域も悩んでいる。地域の中で、自治会・町内会の方や民生委員の方などに災害時要援護者を支援していくことを理解していただき、できることから取り組んでいただきたいと考えている。

麓議員：全ての方々を支えていくのは難しいと思うが、災害時要援護者支援の取組を進めるにあたっては自治会・町内会の日頃の活動が大事になると思う。土砂災害の警戒や和泉川の改修など設備の面で少しずつ整ってきているので、これからも区として支援を進めていただきたい。

麓議員：子育て支援として、泉区でも新たに多くの保育園の開設がされ、待機児童対策に向けて取り組んでいることが分かるけれど、ある保育園では来年に向けて保育士が半分くらい足りないのではないかとの心配の声も伺っている。保育士確保の対策を区としてどのように考えているのか。

横山学校連携・こども担当課長：保育施設・幼稚園等との協働による子育て支援推進事業の保育士等の人材発掘支援において、保育園園長会と連携し、未就労保育士や保育に関心のある方等を対象に、就労支援講座を開催している。今年度も和泉保育園で開催し、14 名の方に参加いただいております。保育園長や保育士から保育の実情や就労している状況などの話をいただき、資格の有無に関わらず保育に携わる人材の確保に取り組んでいる。

麓議員：就労に繋がった方はいるのか。

横山学校連携・こども担当課長：今年度については、先日開催したばかり

であるが、就労に関心がある方も多数おり、今後、個々の保育園とお話しいただき就労していただくという扱いになる。

麓議員：各保育園における次年度の保育士の不足状況について把握しているのか。

横山学校連携・こども担当課長：具体的に何人足りないという話は聞いていないが、来年度の新入園児の申込者数も多くなっている状況であり、一部では定員を超えて受け入れていただく話もあるが、現在の段階では保育士の確保はできている。

麓議員：入園したいお子さんは多くいるし、一部では定員を超えて引き受けている保育園もある。保育士が確保できていなければ、受け入れる数も当然減ってしまう。そういった状況をしっかり把握しておいていただきたい

麓議員：泉区民文化センター（テアトルフォンテ）入口付近のエスカレーターの設置等の要望について伺いたい。

遠藤地域振興課長：エレベーターは利用しにくく、階段も利用しづらいため、エスカレーターを設置して欲しいという声はいただいている。泉区民文化センター（テアトルフォンテ）は区分所有であるため管理会社へ投げかけを行っているが、地下が駐車場となっているため、正面にエスカレーターを設置することは難しい状況である。エレベーターについては、スイッチを押せば係員が対応するので、気軽に利用していただけるよう周知を行っていく。

麓議員：エレベーターは誰かが来ないと動かないのか。

遠藤地域振興課長：エレベーター横のインターフォンのスイッチを押せば、区民文化センターの事務所に繋がり、係員が対応する。

麓議員：区役所のエレベーターのようにボタンを押してすぐに動かすことはできないのか。

遠藤地域振興課長：管理上、3階での降車時に係員が対応する必要があるため、ご理解いただきたい。

麓議員：もう少し使いやすくなるようお願いされたい。

源波議員：市民局区配の協働の「地域づくり大学校」事業にある「泉区まちづくりみらい塾」の目的、これまでの成果及び今後の考え方について伺いたい。

千田地域力推進担当課長：「泉区まちづくりみらい塾」は、今年度で4年目を迎えており、これまで多くの方に積極的にご参加いただいている。趣旨としては、各地域の方の繋がりづくり、他の地域の取組の紹介及び地域の中でお互いに知っていただくことを踏まえての地域づくりである。成果としては、例えば、ある単位自治会・町内会長の方から、昨年度の卒業生が他の地域の事例に触発されて、自分の地域でも高齢者の見守りサロンを立上げてくれたといった声をいただいている。初年度は30名、2年目は29名、3年目は28名、今年度は20名となっており、受講生が少し減ってきているので、様々な機会を通じて声掛けをし、地域の方の取組に繋げていきたいと考えている。

源波議員：具体的な目標をはっきり示しながら進めていくことも必要だと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。

源波議員：木造住宅密集地域延焼防止対策事業において、泉区内では木造住宅密集地域が多く、軽可搬ポンプ4台を配備することについて評価しているが、今後の軽可搬ポンプの配備計画について伺いたい。

金子総務課長：軽可搬ポンプ配備の取組については、横浜市地震被害想定により、火災による焼死者が大幅に増えるとの状況を踏まえて、平成25年度から取組を進めている。これまでに平成26年に5台、今年度5台と計10台を地域防災拠点に配備している。平成28年度は4台を購入し、地域防災拠点に配備していく。泉区内では、中田、しらゆり地域が木造住宅密集地域になっており、平成28年度までの14台で対象地域の地域防災拠点に配備が終了するとともに、その他の地域防災拠点についても、拠点の運営委員長と調整のうえ、配備している。配備をしていない地域防災拠点については、運営委員長に意向を確認した結果、消防団と協力して取り組むなど、今のところ軽可搬ポンプを配備する必要性はないとの返事をいただいている。なお、区役所にも1台置いてあるので、軽可搬ポンプの貸出を行って地域の防災訓練に活用いただきたいと考えている。平成28年度までに14台配備できることで、一定の取組は出来たと考えている。

源波議員：軽可搬ポンプについては、女性や中学生くらいの方でも対応できるとのことなので、訓練をしっかり行っていただきたい。また、併せて狭隘道路の延焼についても、道路局と連携しながら進めていただきたい。

金子総務課長：軽可搬ポンプ配備に当たっては、地域防災拠点の運営委員長との意向確認の中で、配備するかしないかに加えて、軽可搬ポンプを活用した防災訓練を実施するかといったことも確認して配備している。寿命については把握していないが、更新についても今後検討していく。

横山議員：昨年の本会議でアルコールの検査について請願が出ており、交通局や資源循環局のアルコール検査に比べて、消防局の検査の方が緩かったが、その後、消防局及び泉消防署内で改善されたことはあるのか。

有賀泉消防署長：アルコール検査については、10年以上前に検知器を配備している。バス事業者である交通局については、お客様を乗せるということで法律上の義務があるが、消防局においては、法律上の義務はないが自主的に検査を実施している。先般、検知器の更新が行われるとともに、消防車などの緊急車を運転する職員の勤務開始前のアルコール検査についての消防局の内部通知が出され、泉消防署でも職員のアルコール検査について周知徹底し、責任職によるチェックと記録を行っている。

横山議員：緑園小中一貫校予定地のグラウンドについては、様々な団体が利用しているが、いつ頃まで利用可能なのか。

横山学校連携・こども担当課長：教育委員会事務局から平成34年度開校予定というスケジュールが示されているが、工事開始は3年位前となると見込まれ、工事が始まるまでは、利用可能と考えている。

横山議員：平成30年くらいまでは利用可能と捉えて良いのか。

横山学校連携・こども担当課長：現段階でははっきりしたことは言えないが、工程等が決まり次第、教育委員会事務局からお示しさせていただく。

横山議員：中和田小学校の校舎の改築については、今後、プレハブ校舎がなくなり、鉄筋コンクリートの校舎で児童が勉強できる環境が整うのか。

横山学校連携・こども担当課長：平成28年度から校舎の建築に着手し、工程によりスケジュールの誤差はあるが、平成29年度からは新しい校舎が使用できるようになると聞いている。その後は、暫定で使用しているプレハブ校舎を取り壊して、新しい校舎へ移行していく。

横山議員：プレハブ校舎は直しながら17年ほど使用しているが、この度、改築の決断をしたことについて評価している。

麓議員：領家中学校圏域の地域ケアプラザの整備について、平成 28 年度はどのように進めていくのか。

大蔭区政推進課長：平成 28 年度は測量調査及び地質調査を進めていく。

麓議員：整備場所は決まっているのか。

大蔭区政推進課長：（整備場所については、地図にて説明。）

梶村議員：地域防災拠点において、2階以上に備蓄庫を設けている拠点は何か所あるのか。

金子総務課長：2階以上に備蓄庫を設けている地域防災拠点は4か所ある。中田中学校が今年度4階から1階へ移行し、残りが3か所となる。残り3か所のうち、2階が2か所、3階が1か所となっている。平成34年度までに横浜市全域で2階以上の備蓄庫を1階へ移行する計画となっており、横浜市全体で優先順位を決めて整備を進めていく。

梶村議員：2階と3階に備蓄庫を設けている地域防災拠点はどこか。

金子総務課長：2階は下和泉小学校と中和田南小学校、3階は上飯田中学校となっている。

梶村議員：平成28年度の整備対象に入っているのか。

金子総務課長：現段階では泉区内で整備するといった情報は届いていない。

梶村議員：幼稚園の預かり保育はどこか実施しているのか。

横山学校連携・こども担当課長：1園を除く各園で預かり保育を実施している。

梶村議員：預かり保育を実施すると園長先生が大変になると思うので、調整して進めていただきたい。

梶村議員：消防団の第二分団第1班の公園内の器具置場について、そのうち話が行くと思うので対応いただきたい。

梶村議員：泉区休日急患診療所が建て替えの時期に来ているが、場所の問題については水道局サービスセンターの跡地という話もあるが、どうなっているのか。

土井福祉保健課長：平成31年に建て替えを予定している。建て替え場所については、医師会等と調整している。水道局サービスセンターの跡地

という話もいただいているが、まだはっきりお答えできる状況にはない。

源波議員：水道局の跡地について、先日の線引き見直しの素案の中で、水道局、土木事務所周辺が示されていた。また、土木事務所奥の土地については、たぶん民地だと思うが、区役所にも近く、良い場所なので、活用について何か見解があれば伺いたい。

下村区長：市全体で線引き見直しの案を示しており、区役所から水道局周辺までは現在市街化調整区域となっているが、泉区全体として54haほど市街化区域に移行していく中に含まれている。用途地域との組み合わせで、どのようなものが考えられるかが、今後の話になってくる。水道サービスセンターは水道局の財産となっており、企業会計としての判断も必要となる。また、泉区休日急患診療所の建て替えの話も含めて総合的な調整を進めていきたい。

(2) マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）について
質疑なし

(3) 泉中央公園の再整備について
質疑なし

(4) 旧深谷通信所の状況について

源波議員：跡地利用基本計画は予定通り進むのか。

青木政策局基地担当理事：泉区深谷通信所返還対策協議会において様々な議論をいただいている。引き続き、意見等をいただき進めていきたい

源波議員：その他の調査でアスベストやPCBが確認されているが、技術が進歩してきているのでしっかり処理をしていただき、区民が安心できるよう情報提供をきちんとしていただきたい。また、地域の方から様々な意見をいただいております、将来的にはサッカー場の建設など、多少のりしろもあるような計画を進めていただきたい。

青木政策局基地担当理事：スペースとしてはかなり大きくあるので、ご意見も踏まえながら検討していきたい。

麓議員：区民が利用できる広場として、泉区制30周年記念事業で旧深谷通信所跡地を活用したイベントを予定していると聞いているが、それ以

	<p>外の利用についてどのような使われ方を考えているのか伺いたい。</p> <p>石丸政策局基地対策担当課長：新たに設置する広場については、普段から周辺の住民が自由に入出入りできる広場として開放したい。現在、開放の仕方等については、泉区と協議している。また、泉区制 30 周年記念事業でのイベント活用についても、泉区と協議している。</p> <p>下村区長：旧深谷通信所跡地については、現地で行われている少年野球等に携わっている方々が、管理と引き換えに暫定利用をされている。一方、一昨年 6 月に返還がされ、そろそろ 2 年になるが、今回、泉区制 30 周年ということで、今まで広場に入ることがない方々にも、足を踏み入れていただき、返還を実感していただきたい。実は課題もあり、この 77 h a には水道も下水道も入ってなく、恒久的な土地の利用を判断する前の時点での暫定的な利用であり、広場としての運用も極めて限定的な形にならざるをえない。本格的な土地利用までは時間がかかるので、理想的な利用を求めて時間軸を遅らせるよりは、周辺の住民の方々に足を踏み入れていただき、広場の開放を実感していただくことを優先したい。また、この場所についてはこれまで様々な意見をいただいているが、今後、これからこの場所に入った方々からも意見をいただき、裾野が広がることを期待している。詳細については、国や政策局との調整が必要であるが、泉区としてはこのように進めていきたいと考えている。</p> <p>(5) 泉区和泉町第五次地区の住居表示について 質疑なし</p> <p>(6) その他 質疑なし</p>
備 考	